

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 中央市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	透I未訓ガ	救臨が感災地
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	101,981	非該当	非該当	7:1

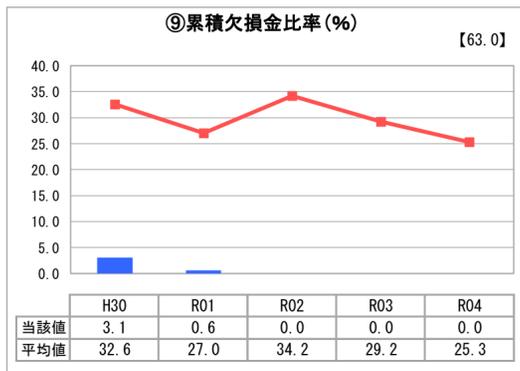
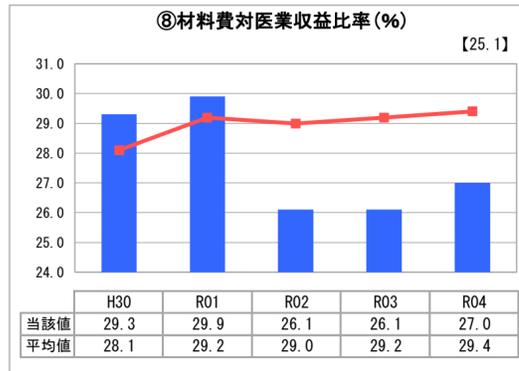
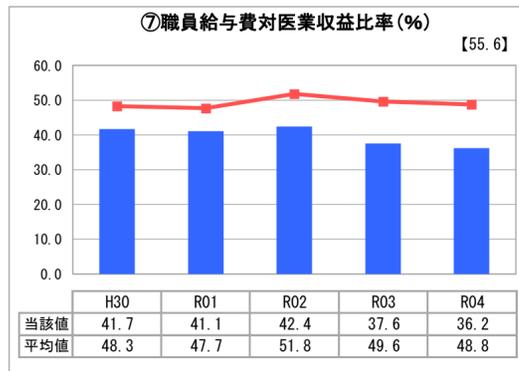
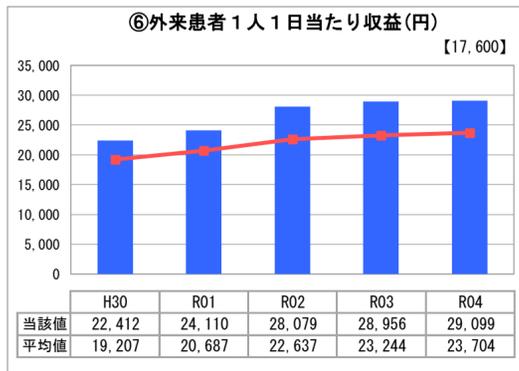
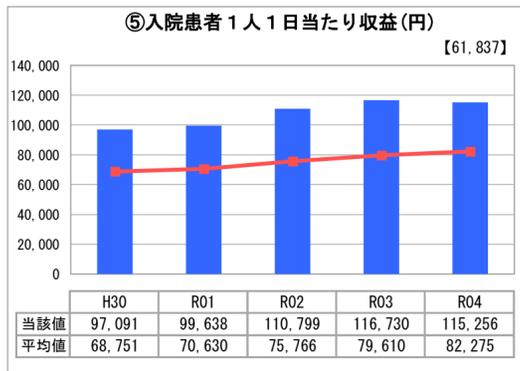
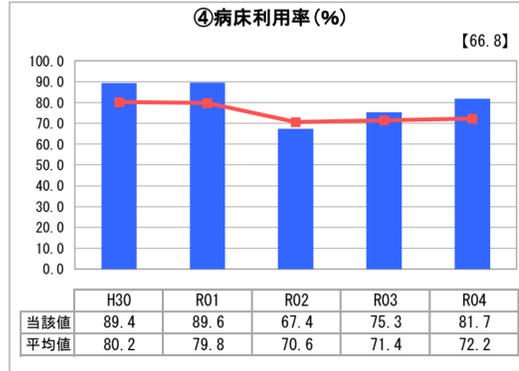
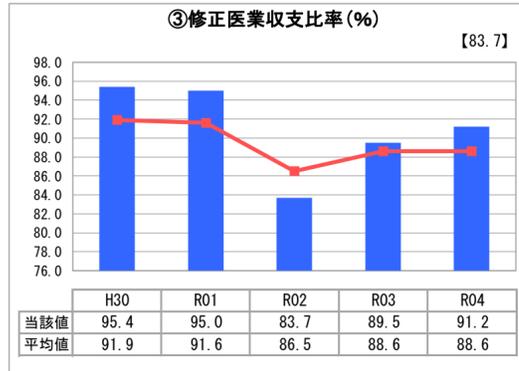
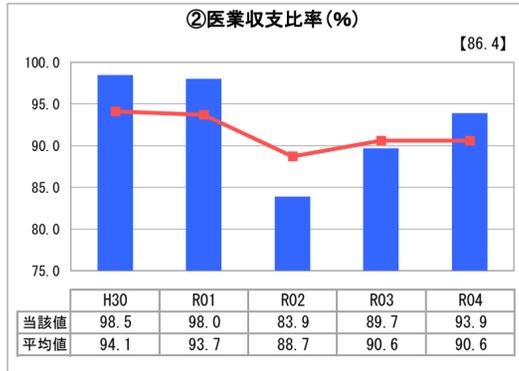
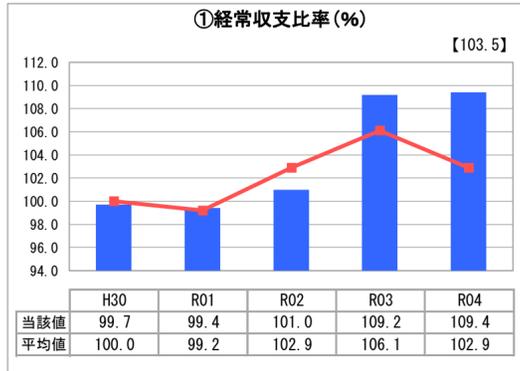
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
750	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
8	10	768
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
729	-	729

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
[]	令和4年度全国平均

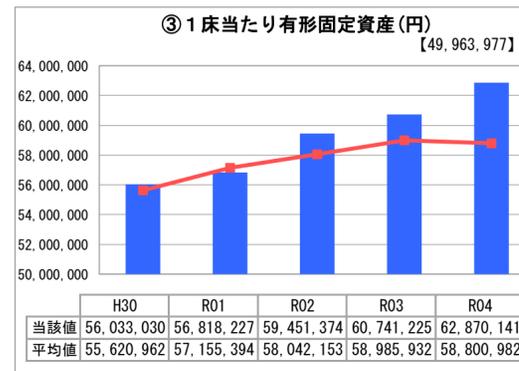
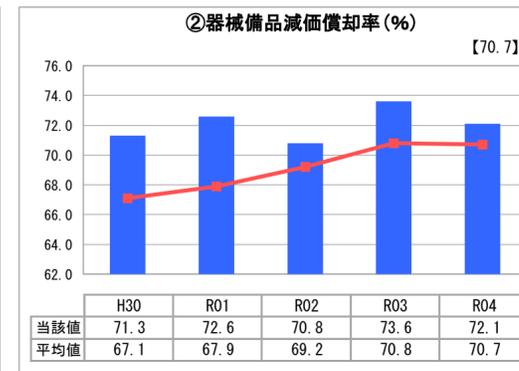
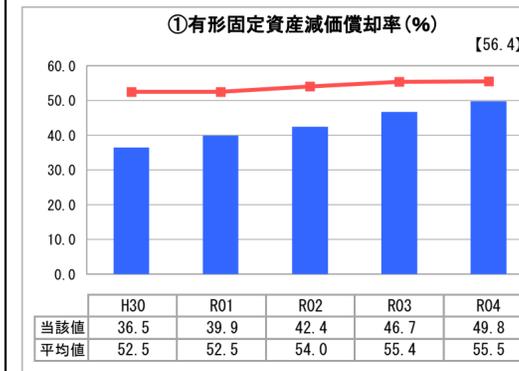
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

神戸市全域の基幹病院・救命救急センターとして24時間365日の救急医療を提供するとともに、高度医療・急性期医療を重点的に担い、最後の砦として市民の生命と健康を守る役割を担っている。
※平成29年11月に先端医療センターを統合し、60床増床している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度決算においては、新型コロナウイルス感染症の重症患者を受け入れるとともに、救急医療・高度医療の提供との両立を図った結果、医業収支比率が上がった。また、同感染症関連補助金の確保もあり、経常収支比率は引き続き100%を上回った。神戸市全域の基幹病院として高度医療・先進医療を提供していることに加え、新規患者数の増加や外来化学療法法の増加により、患者1人1日当たり収益は入院・外来ともに平均値を大きく上回っている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、平成23年度に病院建物を新築・移転し、平成28年度に北館・研修棟を増築、平成29年度には先端医療センター病院の統合、令和2年度には新型コロナウイルス感染症患者専用病棟である臨時病棟の建設により、建物を取得したところであり、平均値を下回っている。
器械備品減価償却率については、大型の放射線機器等、医療機器の更新が進んだこと等から前年に比べ下がっている。

全体総括

1. に記載の通り、経常収支比率が100%を上回ったのは新型コロナウイルス感染症関連補助金を確保するとともに、救急医療・高度医療の提供との両立を図ったことで医業収支比率が改善したためである。新たに算定可能な項目や加算が期待できる項目について積極的に検討を行い、医業収益の確保に取り組むとともに、材料費の削減、効率的・効果的な業務執行など、費用の削減に取り組んでいるところであり、今後もより一層の経営改善を図っていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。